

方城大非常から百年の節目に 「方城すいとん」が給食メニュー化

郷土の子に

福智町の全小中学校8校、2024人の全ての子どもたちが学校給食でかみしめる故郷の味。祈りと学び、そして食で、故郷を心に刻みます。

全校で給食献立と郷土の学びが実現

方城大非常をルーツに、故郷の炭鉱と命の尊さ、炭鉱長屋での支え合いやつながりなど、深いメッセージが込められている「福智名物方城すいとん」。大非常から百年の節目にあたる12月15日、このご当地グルメが、福智町で初となる全小中学校8校の学校給食メニュー化が実現することになりました。

さらに、事故が発生した9時40分には、全校で大非常と全ての炭鉱殉職者に黙とうをささげ、その日、全てのクラスで郷土と炭鉱、人の命の尊さを学ぶ学習が行われます。

「かつて国を支えるエネルギーを生み出した炭鉱と尊い命の犠牲、そして、先人たちの絆や子どもたちへの限らない愛がこの町にあったことを忘れないために、福智町の全ての子どもたちに、ふるさとをかみしめてほ



市場小学校・校長 井上 憲治 校長

しい」と校長会会長の井上憲治市場小学校長は力を込めます。あの、大非常から百年を経て、この町の約2千人の子どもたちが、過去を学び、先人を思い、郷土を一緒に味わいます。

福智産ミニトマト 永富 久三さん(神崎)



太陽と福智の恵みをたくさん吸収したミニトマト。減農薬で子どもたちにも安心・安全です。その食感と、口の中に広がる自然な甘みを、余すことなく感じてもらえたらうれしいです。

「ふくち☆リッチゼラート」 福智ブランドファクトリー



福智産あまおうなど素材を厳選し、ふんだんに使ったぜいたくなゼラート。みんなの笑顔を思いながら一つひとつ心を込めて手作ります。できたての味をお楽しみください。



福智名物・方城すいとん 福智好いとん隊



炭鉱で育まれた故郷の愛と絆の味、ご当地グルメ「福智名物・方城すいとん」を、学校給食で味わっていただき、そのメッセージを受けとめていただけることを誇りに思います。

大福おばちゃんのかしわ飯 世良 多美子さん(上野)



閉店はしましたが、こうして「大福うどん」の味が、いまだに親んでもらえていることに感謝しています。まちの全ての子どもたちに食べてもらえるなんて、感慨無量です。

故郷を体感する 福智一色のメニュー

12月15日に、福智町のすべての子どもたちの前に並ぶ献立は「福智名物方城すいとん」とどまらず、上野にあった老舗の幻の味を再現した「大福おばちゃんのかしわ飯」、地元産の新鮮野菜、そして福智ブランドの特産品である「ふくち☆リッチゼラート」といった、ふるさと「福智」一色のスペシャルメニュー。

福智町学校給食センター管理栄養士の松下美里さんは「黙とうや故郷と命の授業で学んだ子どもたちが、特別な意味を持つ給食を通じて、ふるさとへの学びと思いがさらに深まることを期待しています。調理員のみならず心も込めたすいとんを、実際に味わい、体感することによって、かつての故郷の姿や感謝の気持ちが子どもたちの心に刻まれたらうれしいですね」と、メニューに込めた思いを語りました。



福智町学校給食センター 松下 美里 管理栄養士

発生から百年たった「方城大非常」という「故郷と命の教材」を、合併して10年がたとうとしているこの福智町で、全ての学校と子どもたちが受けとめ、12月15日に初めて共有します。



金田小・中学校の自校給食室と共に、毎日2千食以上の給食を作る「福智町給食センター」。子どもたちに安全で安心な食を届ける栄養士や調理師などの協力で、今回の特別給食が実現しました。

